

11. 夏そば品種の栽培特性

福島県農業試験場会津支場・平成11年春夏作試験成績概要

1 部門別 普通畑作物ーソバー品種 02-09-01031800

2 担当者 山田英雄・渡部 隆・大谷裕行

3 要 旨

(1) 5月15日播種で、成熟期は、しなの夏そば、関東4号が最も早く、7月中旬であった。また、その他の品種・系統も7月下旬までに成熟期に至った。

(2) 収量は、キタワセソバが17.3kg/aで最も多収となった。在来種の中では、下郷在来(夏)が14.5kg/aで、しなの夏そばに優った。千粒重は、ほとんどの品種・系統で25gを越え、キタワセソバと関東4号は30g近い千粒重となった。

(3) 外観品質は、キタワセソバがしなの夏そば並の外観品質で、粒大、粒色の揃いが良好であった。在来種はいずれも、粒大、粒形、粒色がばらつくため外観品質はやや劣ったが、その中でも下郷在来(夏)は粒張りが良好で、リットル重も重かった。

(4) 以上のことから、キタワセソバは収量、品質ともに良好であった。また、在来種の中では下郷在来(夏)が収量、品質ともに安定していた。